

市内小中学校 P T A 会員の皆様へ

平成 2 8 年度 七尾市 P T A 連合会 会員研修会のお知らせ

七尾市 P T A 連合会 家庭教育委員長 津田 康子

主題：郷土を愛する心と、育てよう地域との絆

日 時 平成 2 8 年 7 月 3 日 (日) 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 4 0

会 場 和倉温泉観光会館 (七尾市和倉町 2 - 1 3 - 1)

主催 七尾市 P T A 連合会 ・ 中能登町 P T A 連合会

後援 石川県教育委員会 ・ 七尾市教育委員会 ・ 中能登町教育委員会

[日 程]

1 3 : 0 0

受 付

1 3 : 3 0

開会式

1 3 : 4 0

講演会

講師：竹下 和男 氏

演題：「弁当の日」から始まる家族の絆 (仮)

1 5 : 2 0

シンポジウム (パネリストによるディスカッション)

1 6 : 3 0

閉会式

1 6 : 4 0

閉 会

お子様連れ大歓迎
小学校高学年以上の方は一緒に講演会を聞きましょう。
ちびっ子保育コーナーあります。



駐車場のスペースが限られておりますので、なるべく乗り合わせのうえお越してください。

参加される方は、6月15日(水)までに学校へ提出してください

会員研修会に参加します

小学校高学年以上の同聴者のお名前もお書きください

学校名

お名前

お名前

お名前

保育コーナーを利用します

小さなお子様は保育士がお預かりします

お子様のお名前

年齢

才

ヶ月

お子様のお名前

年齢

才

ヶ月

お子様のお名前

年齢

才

ヶ月

裏は...「弁当の日」ってなあに？



「弁当の日」ってなあに？

近年、子どもの食を取り巻く環境は大きく変化しています。食材を大切に作る心の欠如や栄養バランスが偏った食事による肥満、生活習慣病の増加、過度なダイエットによる体調不良などが増えてきており、コンビニ弁当やインスタント食品の普及により、地域の伝統ある食文化の崩壊も危惧されています。

こうした状況を改善するため、子どもが自分の弁当を自ら作ることで、食の大切さを知る取組み「弁当の日」が2001年、香川県の竹下和男教諭が提唱して始まりました。「大人は手伝わないで、子どもだけで作る（大人がこっそり手伝ってもOK!）」というのがルールで、現在、全国1700以上の小中学校、大学、専門学校で実施されています。

子どもが親のアドバイスを受けて献立を決め、食材をスーパーで買い、家で調理して弁当に詰めて学校に持ち寄り食べるという取組みです。食材への関心を高める「食育」だけでなく、親と子のコミュニケーションを促進することで親への感謝の気持ちが生まれ、健康な食生活を自分で維持するための「生きる力」を育む効果が期待されます。

今年度のPTA会員研修会は中能登町PTA連合会と共催で、「弁当の日」の提唱者である竹内和夫先生の講演会と、県内の実践校である加賀市山代中学の西上校長先生並びに実際に「弁当の日」に取り組んでいる山代中PTA会員親子（予定）等をお招きしシンポジウムを開催。「弁当の日」を通じて“親子の絆”を見つめ直す機会といたします。



子どもが作る「弁当の日」とは？

2001年、香川県の小学校で竹下和男校長（当時）が始めた「弁当の日」。子どもが自分でお弁当を作って学校に持ってくるという取り組みです。何を作るかを決めることも、買い出しも、調理も、弁当箱に詰めるのも、片付けも、子どもがします。親も先生も、その出来具合を批評も評価もしないという約束です。

この取り組みを通じ、子どもたちは感謝の心を知り、自己肯定感が育まれています。失敗の中から多くを学び、生き

る力を身に付けています。

大人たちは見守る大切さを知り、子どもの成長を通じて子育てが楽しいと思えるようになっていきます。家族団らんが増え、家庭に笑顔があふれるようになっています。

そんな好循環が「弁当の日」を通じて全国に広がりはじめています。2015年4月現在、「弁当の日」実施校は全国で1700校を超えるまでになりました。



竹下 和男 氏